

雌阿寒岳における全磁力観測*

Observation of Geomagnetic Total Force at Meakandake Volcano

気象庁地磁気観測所

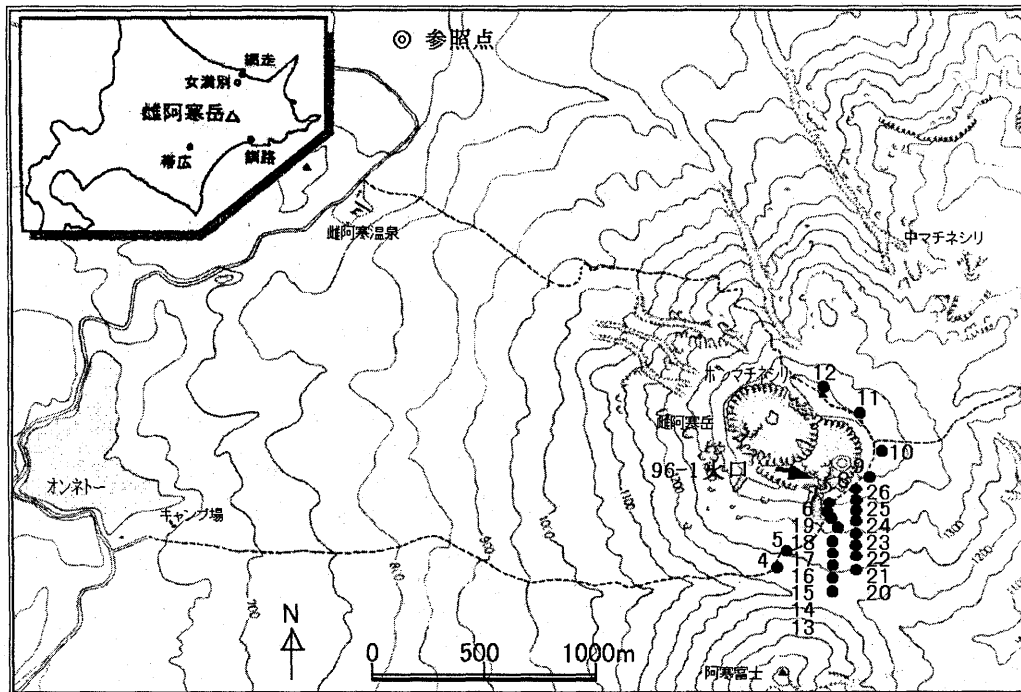
Kakioka Magnetic Observatory, JMA

地磁気観測所女満別出張所では、雌阿寒岳の第1図に示した観測点において全磁力繰り返し観測を行っている。2001年は9月に観測を実施した。

参照点を基準とした各観測点の全磁力変化を第2図に示す。

2000年7月と2001年9月の全磁力差の変化分布に、ダイポール近似を当てはめた結果、ポンマチネシリ火口南東部の96火口南東深部での帯磁傾向が示された。この傾向は1999年9月と2000年7月との全磁力差の比較の結果と同様であり、この領域で帯磁傾向が継続していることが示唆される。これは、釧路地方気象台による火口温度観測（参考参照）の結果とも調和的である。

なお、詳しく見ると、2000年7月と2001年9月を比較した結果からは、96火口近傍浅部で帯磁から消磁に転じたことも示唆される。しかしその大きさは小さく、観測誤差、解析誤差との兼ね合いもあり、はっきりしたことは不明である。

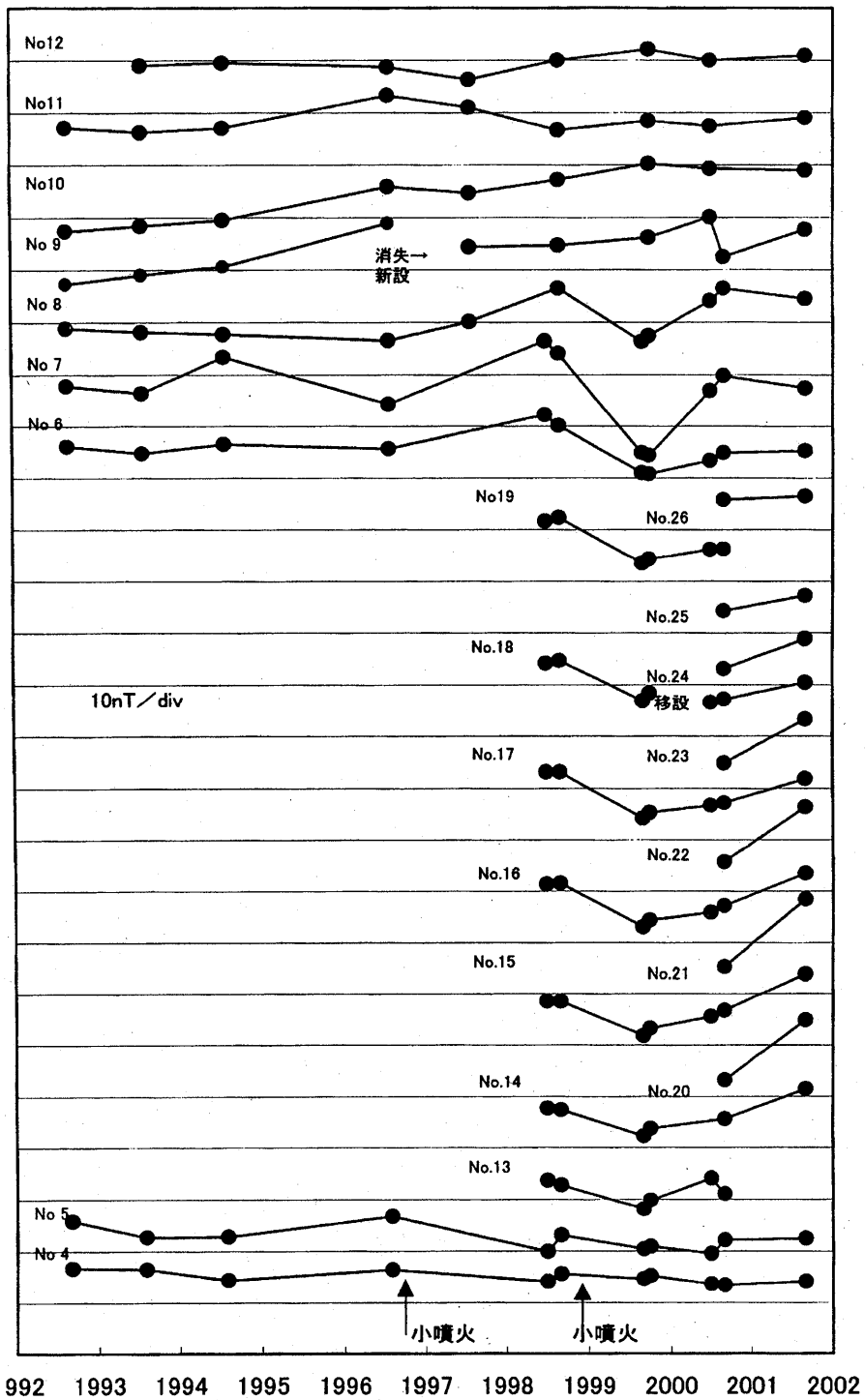


第1図 全磁力観測点は位置図

● 全磁力繰り返し観測点 ◎ 参照点

Fig.1 The distribution of observation points of the geomagnetic total force.

* Received 27 Dec., 2001



第2図 各観測点と参照点との全磁力差の変化
 Fig.2 Variations of the difference between geomagnetic total forces at the repeat observation points and the reference point.